

施策番号 2-2-1	施策名 地域内循環の推進と商工業の振興	基本目標	豊かな自然を生かした活力ある農業のまちづくり			
		政策名	農業と連携した活力ある商工観光の振興			
	主管課	商工観光課	課長名	紺野 裕	内線	411
	施策関係課	建設都市整備課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
企業誘致や中心市街地の活性化による商工業の売上げ確保と地域内での経済循環をすすめます。		事業者 工業系企業	<ul style="list-style-type: none"> ・景気低迷の中、庁内消費の維持・拡大を図る ・1次産業から2次・3次産業への経済波及・循環を図る ・企業誘致等による町内企業数の維持・拡大を図る 				<ul style="list-style-type: none"> ・税収の確保 ・雇用の確保
成果指標	説明	単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標	
① 製造品出荷額等	工業統計調査	億円	754	848 (H28経済センサス)	735 (H29工業統計)	750	
② 商品販売額	商業統計調査	億円	655	795 (H28経済センサス)	795 (H28経済センサス)	695	
③ 町内企業数	事業所・企業統計調査	社	760.0	739 (H28経済センサス)	739 (H28経済センサス)	760	
成果指標設定の考え方	①食品関連企業の企業誘致を振興するための成果指標に設定。 ②商業を振興するための施策を講じる必要があることから成果指標に設定。 ③企業数が企業誘致の成果及び事業所の経営状況につながることから成果指標に設定。						

2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	565,000	563,271
人工数(業務量)	2,5468	2,7822

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input checked="" type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	・H29工業統計は実質H28の実績であることから、H28台風災害による影響から関連した製造品の出荷は減少したと見込まれる。
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を核として発展してきた商工業にあって、特に工業製造品出荷額にあっては農業関連の製造品が多く、天候に影響される農業産出額によって変動すると考える。 ・町内企業数にあっては、商業にあっては空き店舗の点在、工業にあっては新工業団地造成計画ができず、立地希望企業に対し企業誘致の推進ができなかったのが要因である。
(2) 施策の成果評価に対する第4期総合計画(後期実施計画)の事務事業総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	まちなか賑わい創出事業 芽室駅前プラザ維持管理事業 企業誘致促進対策事業 町中小企業融資事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	芽室東工業団地造成事業
③事務事業全体の振り返り(総括)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか賑わい創出事業において、平成27年度から実施した「まちなかマルシェ」は町民にも浸透し、地場製品のPR等、地域内循環の推進を加速させることができた。 ・芽室駅前プラザ維持管理事業において、中心商業地域の商業及び集客の核施設である「めむろ〜」の適正な維持管理を行っている。 ・企業誘致促進対策事業における立地企業に対する優遇支援にて、新規立地及び規模拡大に財源的支援を図っている。 ・町中小企業融資事業は、町内企業が時代に対応した存続を目的とした事業であり、企業の経営安定に資する金融の円滑化を図っている。 ・芽室東工業団地造成事業にあっては、新工業団地造成計画ができず、立地希望企業に対し企業誘致活動ができなかった。 		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果				○	

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・中心商業地域の空き店舗の増加により、商店街形成に影響を与え消費流出が加速化する。 ・東工業団地の分譲地不足のため、町内立地希望企業が町外立地を選択する可能性がある。 ・中小企業の人手不足が深刻化し、安定した経営が困難となる。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の賑わいづくり ・空き店舗対策 ・リフォーム助成事業、買い物スタンプ事業等の地域内循環事業 ・新たな工業団地用地の供給 ・従業員募集をしても応募がない。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たに取り組むべき課題)

①課題 中心市街地の賑わいづくり ネット通販の普及及び中心市街地に空き店舗、空き地が点在し、消費流出に拍車がかかることから、地域内経済循環の推進と空き地及び空き店舗活用として商店の集積化を図る。
②課題 新工業団地の開発と立地企業への支援 立地希望企業の要望に応えるため、新工業団地の造成を目指した取り組みを進めるとともに、人手不足を解消するための支援策を検討する。
③課題 中小企業及び小規模事業者への支援 中小企業の存続並びに起業家に対し、商工会及び関係団体と連携を図り、支援体制を強化する。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	平成28年の台風で数値の減少はあったが、イベントも含めた中心市街地の賑わいづくりの取組など地域内循環の推進などの取組により、施策全体としては前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	今後も各関係団体と連携を図り、取組を進めていってもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価と同じく策定時と比較して前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	企業誘致が人口だけでなく、町内の消費などの循環を生むよう取組を進めてほしい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					